

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	浄化槽整備推進費	担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度	担当課室	廃棄物対策課浄化槽推進室	浄化槽推進室長 藤塚 哲朗			
会計区分	一般会計	施策名	4-6 浄化槽の整備によるし尿及び雑排水の適正な処理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	廃棄物処理施設整備計画(平成20年3月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	浄化槽は下水道と同様の処理能力を有するオンサイト型の処理施設であり、地方の人口分散地域では効率的な整備が可能なものである。このような浄化槽の機能や特長について、自治体関係者(首長、議員等)などへの理解を深める事業を行うことにより、自治体での浄化槽の整備推進を図ることとし、健全な水環境を確保する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県・市町村の浄化槽行政担当者に対し、浄化槽の具体的な整備内容・方法や課題への取り組み等に関して、環境省調査情報の還元や自治体との情報交換等の実施を通じ、国及び自治体間での連携を図り、国及びブロック毎の自治体間のネットワークを構築・情報交換を活性化させる(浄化槽行政ブロック会議)。市町村の政策決定に携わる市町村長、市町村議会議員並びに浄化槽等行政関係者を対象として、経済的・効率的な汚水処理施設である浄化槽の特長や地域の実情にあった汚水処理施設の整備手法の選択に関する説明会を開催する(浄化槽シンポジウム)。また、NPOとの連携により浄化槽に関する情報を提供・共有することによりネットワークの形成を促進する(浄化槽フォーラム)。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	50	52	52	28	15
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	32	52	52	28	15
	執行額	32	3	14			
執行率(%)	64%	6%	27%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	平成24年度までに、浄化槽処理人口普及率(浄化槽普及人口の総人口に対する割合)を、12%とする	成果実績	%	8.87	8.84	調査中	12
		達成度	%	73.9	73.7	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	浄化槽行政ブロック会議等開催回数	活動実績(当初見込み)	回	9	3	10 (11)	— (11)
単位当たりコスト	1,396(千円/回)		算出根拠	浄化槽整備推進費13,956千円/浄化槽行政ブロック会議等開催回数(10回)			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	28	15	執行率を勘案し、予算規模を見直したため。			
計	28	15					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	廃棄物処理施設整備計画に基づき、浄化槽処理人口普及率を12%とし、平成18年度末から平成21年度末までに合併処理浄化槽は32万7千基増加しているが、1基あたり処理人口の減少の影響を受け目標の達成は困難な状況であるため。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当事業は、市町村関係者や住民等における浄化槽に対する基礎的理解や意識が十分でないことから、浄化槽の整備推進を行う上で自治体関係者等に対し実施してきたが、前身の浄化槽タウンミーティング事業(平成16年度～)から本年度で既に7年実施し、東京を除き、一巡したところである。その間、市町村における浄化槽整備への機運が高まってきており、汚水処理整備計画の見直し等を行う事例も数多く現れてきている。このため、一定の理解や認識は進んだと思われるが、更に浄化槽整備事業を実施している市町村では、整備上の課題(合併浄化槽への転換方策等)など浄化槽を巡る諸課題の取り組みに関する情報交換等の要望が強いところである。このため、当該事業を各地域での整備の実情に合わせ、浄化槽整備推進の成果により繋がる事業内容として見直しを図った。なお、平成23年度は予算の減額により、開催箇所の絞り込み、重点化を図り、効率的に実施していく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		支出状況を勘案し、予算規模を見直すべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行実績を勘案し、業務の効率化により、概算要求額を減額。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

環境省  
14百万円

〔業務内容の企画、実施状況の監督〕



【一般競争入札】

A. (株)オーエムシー  
14百万円

〔浄化槽シンポジウムの開催事務及び浄化槽フォーラムの開催準備〕

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)(単  
位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.(株)オーエムシー			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	シンポジウム開催事務費	11			
雑役務費	フォーラム開催準備事務費	3			
計		14	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	(株)オーエムシー	浄化槽シンポジウムの開催事務	11	6	38%
	(株)オーエムシー	浄化槽フォーラムの開催準備	3	9	64%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					